

平成23年度 決算説明資料

当期決算の特徴	1
I 平成23年度通期(平成24年3月期)決算の概要	
1. 預金、貸出金の残高【単体】	2
2. 利鞘【単体】	4
3. 預り資産残高・保険販売実績【単体】	4
4. 損益状況【単体】	5
5. 損益状況【連結】	7
6. 業務純益【単体】	8
7. 国債等債券関係損益【単体】	8
8. 株式関係損益【単体】	8
9. 有価証券・金銭の信託の評価損益【単体】・【連結】	9
10. ROE【単体】	9
11. 自己資本比率（国際統一基準）【単体】・【連結】	10
II 貸出金等の状況	
1. 貸倒引当金とリスク管理債権の状況【単体】・【連結】	11
2. 金融再生法開示債権の状況【単体】	12
3. 業種別貸出状況等	13
(1) 消費者ローン残高【単体】	13
(2) 中小企業等貸出比率【単体】	13
(3) 業種別貸出金残高【単体】	13
(4) 業種別リスク管理債権残高【単体】	14
4. 国別貸出状況等	14
(1) 特定海外債権残高【単体】	14
(2) アジア向け貸出金【単体】	14
(3) 中南米主要諸国向け貸出金【単体】	14
(4) ロシア向け貸出金【単体】	14
III 自己査定結果と開示基準別の分類・保全状況【単体】	15
IV 平成25年3月期(通期)の業績予想	16

当期決算の特徴

◆与信コストの減少により前期比増益

(詳細は、5～6頁をご覧ください。)

- ◇ 低金利の長期化により貸出金利息は前期比19億円の減少、有価証券利息配当金も同4億円減少となりましたが、預金等利息も同19億円減少したため、資金利益は前年比4億円の減益となりました。また、役務取引等利益は前期並みの水準となりましたが、債券関係損益の悪化を中心にその他業務利益が同18億円減少し、業務粗利益は22億円の減益となりました。一方、経費は人件費の減少を主因に前期比2億円の減少となり、一般貸倒引当金繰入前の実質業務純益は同20億円の減益となりました。
- ◇ しかしながら、当期の与信コスト（一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－投資損失引当金戻入益－偶発損失引当金戻入益）は47億円と前期比68億円の大幅減少となり、株式関係損益も同8億円改善しました結果、経常利益は158億円と前期比70億円の増益、当期純利益も73億円と同35億円の増益となりました。

(単位：億円)

	当期実績	前期実績	前期比較
業務粗利益	649	672	△22
[コア業務粗利益(債券関係損益を除く)]	[618]	[627]	△8
資金利益	553	557	△4
うち貸出金利息	460	479	△19
うち有価証券利息配当金	146	150	△4
うち預金等利息 (△)	45	65	△19
役務取引等利益	61	61	0
その他業務利益	34	53	△18
[うち債券関係損益]	[31]	[45]	[△14]
経費 (△)	440	442	△2
実質業務純益	209	230	△20
一般貸倒引当金繰入額 [①] (△)	0	7	△7
業務純益	209	222	△13
[コア業務純益(債券関係損益を除く)]	[178]	[177]	0
臨時損益	△50	△134	83
うち株式関係損益	△4	△12	8
うち不良債権処理額 [②] (△)	52	108	△55
うち償却債権取立益	13	—	13
うち投資損失引当金戻入益 [③]	4	—	4
うち偶発損失引当金戻入益 [④]	1	—	1
経常利益	158	88	70
特別損益	△4	△0	△3
うち償却債権取立益	—	14	△14
うち減損損失 (△)	3	13	△10
税引前当期純利益	154	87	66
法人税等合計 (△)	80	49	31
当期純利益	73	38	35
与信コスト (①+②-③-④)	47	115	△68

I 平成23年度通期（平成24年3月期）決算の概要

1. 預金、貸出金の残高【単体】

当行の「健全経営」が地域から高い評価を受け、当期中の預金等（譲渡性預金を含む）の期中平均残高は、前期比1,019億円増加（増加率2.58%）し4兆506億円となりました。特に、コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆684億円で同696億円増加（増加率2.32%）となりました。

一方、貸出金の期中平均残高は2兆7,164億円となり、前期比337億円増加（増加率1.25%）となりました。これは、事業性貸出が前期比366億円増加（増加率2.22%）の1兆6,787億円となったことが寄与したものであります。

この結果、預貸率は67.06%で、前期比0.87%低下いたしました。

今後も引き続き、運用力の一層の強化に努め、良質な貸出金の増強に努力してまいります。

（金額単位：百万円）

〔期中平均残高〕	24年3月期	（比較欄の上段は増減率）		23年9月期 （第2四半期累計期間）	23年3月期
		23年9月期 比較	23年3月期 比較		
預金等（平残） （預金＋譲渡性預金）	4,050,608	(0.13%) 5,436	(2.58%) 101,982	4,045,171	3,948,625
うち滋賀県内（平残）	3,536,622	(0.05%) 1,892	(2.73%) 94,222	3,534,730	3,442,400
預金（平残）	3,928,965	(0.15%) 5,925	(2.56%) 98,221	3,923,039	3,830,744
うち滋賀県内（平残）	3,420,094	(0.06%) 2,096	(2.75%) 91,558	3,417,998	3,328,536
うち個人預金（平残）	3,068,448	(0.38%) 11,635	(2.32%) 69,619	3,056,813	2,998,829
うち法人預金（平残）	736,709	(0.51%) 3,767	(2.93%) 21,036	732,941	715,673
譲渡性預金（平残）	121,642	(△0.40%) △489	(3.19%) 3,761	122,132	117,881
うち滋賀県内（平残）	116,527	(△0.17%) △204	(2.33%) 2,663	116,732	113,864
貸出金（平残）	2,716,489	(△0.40%) △11,008	(1.25%) 33,795	2,727,498	2,682,693
うち滋賀県内（平残）	1,686,060	(△0.30%) △5,172	(△0.26%) △4,422	1,691,233	1,690,483
うち消費者向け貸出（平残）	870,944	(△0.21%) △1,865	(△0.43%) △3,765	872,809	874,709
うち事業性貸出（平残）	1,678,708	(△0.38%) △6,490	(2.22%) 36,606	1,685,199	1,642,102
預貸率（平残ベース）	67.06%	△0.36%	△0.87%	67.42%	67.93%

（注）1. 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. 貸出金のうち滋賀県内の残高は、本部勘定に計上しているローンパーティシペーション等の余資運用の一環として行っている貸出金を除いて記載しております。

(金額単位：百万円)

〔期末残高〕	24年3月末	(比較欄の上段は増減率)		23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末
		23年9月末比較	23年3月末比較		
預金等 (預金+譲渡性預金) (末残)	4,099,022	(1.21%) 49,076	(2.24%) 90,167	4,049,946	4,008,855
うち滋賀県内 (末残)	3,576,582	(1.29%) 45,711	(2.38%) 83,296	3,530,871	3,493,285
預金 (末残)	3,994,497	(1.61%) 63,349	(2.44%) 95,321	3,931,148	3,899,175
うち滋賀県内 (末残)	3,478,657	(1.86%) 63,583	(2.76%) 93,551	3,415,073	3,385,106
うち個人預金 (末残)	3,095,146	(1.44%) 44,117	(2.05%) 62,302	3,051,028	3,032,844
うち法人預金 (末残)	770,495	(1.76%) 13,351	(4.15%) 30,706	757,144	739,788
譲渡性預金 (末残)	104,524	(△12.01%) △14,272	(△4.69%) △5,154	118,797	109,679
うち滋賀県内 (末残)	97,924	(△15.43%) △17,872	(△9.47%) △10,254	115,797	108,179
貸出金 (末残)	2,750,010	(1.23%) 33,526	(△0.89%) △24,824	2,716,484	2,774,834
うち滋賀県内 (末残)	1,696,528	(0.40%) 6,914	(△1.47%) △25,435	1,689,613	1,721,963
うち消費者向け貸出 (末残)	868,367	(△0.33%) △2,934	(△0.95%) △8,349	871,302	876,716
消費者ローン (末残)	785,358	(0.27%) 2,125	(0.23%) 1,807	783,232	783,550
その他の 消費者向け貸出 (末残)	83,009	(△5.74%) △5,060	(△10.90%) △10,156	88,069	93,165
うち事業性貸出 (末残)	1,714,874	(1.98%) 33,312	(△0.08%) △1,431	1,681,561	1,716,305
預貸率 (末残ベース)	67.08%	0.01%	△2.13%	67.07%	69.21%

- (注) 1. 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 貸出金のうち滋賀県内の残高は、本部勘定に計上しているローンパーティシペーション等の余資運用の一環として行っている貸出金を除いて記載しております。
3. 消費者向け貸出のうち、消費者ローンとは、借入の利便性向上のため予め貸出条件等を定めてパッケージ化した商品であり、その他の消費者向け貸出とは、消費者ローン以外の個人向け一般融資（事業性の貸出を除く）であります。

〈 ご参考 〉 個人預金及び個人預り資産残高

(金額単位：百万円)

〔期末残高〕	24年3月末	(比較欄の上段は増減率)		23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末
		23年9月末比較	23年3月末比較		
個人預金 + 個人預り資産残高 (末残)	3,626,901	(1.83%) 65,304	(2.36%) 83,876	3,561,596	3,543,024
個人預金 (末残)	3,095,146	(1.44%) 44,117	(2.05%) 62,302	3,051,028	3,032,844
個人預り資産残高 (末残)	531,754	(4.14%) 21,186	(4.22%) 21,574	510,567	510,180

- (注) 1. 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 預り資産残高の詳細は4ページに記載しております。

2. 利鞘【単体】

当期中の資金運用利回りは前期比0.11%低下して1.43%となりました。これは、低金利の長期化による貸出金利回りの低下（前期比0.10%低下）及び有価証券利回りの低下（同0.07%低下）が主因であります。

一方、資金調達原価は預金等利回りの低下（前期比0.05%低下）及び経費率の低下（同0.04%低下）から1.20%（同0.09%低下）となり、その結果、総資金利鞘は同0.02%の低下となりました。

(単位：%)

〔全店ベース〕	24年3月期		23年9月期 (第2四半期 累計期間)	23年3月期
		23年9月期 比較		
(1) 資金運用利回り (A)	1.43	△0.03	1.46	1.54
(i) 貸出金利回り (B)	1.70	△0.01	1.71	1.80
(v) 有価証券利回り	1.06	△0.06	1.12	1.13
(2) 資金調達原価 (C)	1.20	△0.04	1.24	1.29
(i) 預金等原価 (D)	1.19	△0.03	1.22	1.28
(v) 預金等利回り	0.11	△0.01	0.12	0.16
(v) 経費率	1.08	△0.02	1.10	1.12
(3) 預貸金利鞘 (B)-(D)	0.51	0.02	0.49	0.52
(4) 総資金利鞘 (A)-(C)	0.23	0.01	0.22	0.25

(単位：%)

〔国内店ベース〕	24年3月期		23年9月期 (第2四半期 累計期間)	23年3月期
		23年9月期 比較		
(1) 資金運用利回り (A)	1.42	△0.02	1.44	1.55
(i) 貸出金利回り (B)	1.70	△0.01	1.71	1.80
(v) 有価証券利回り	1.05	△0.06	1.11	1.12
(2) 資金調達原価 (C)	1.17	△0.04	1.21	1.26
(i) 預金等原価 (D)	1.17	△0.03	1.20	1.26
(v) 預金等利回り	0.10	△0.01	0.11	0.15
(v) 経費率	1.07	△0.02	1.09	1.10
(3) 預貸金利鞘 (B)-(D)	0.53	0.02	0.51	0.54
(4) 総資金利鞘 (A)-(C)	0.25	0.02	0.23	0.29

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

3. 預り資産残高・保険販売実績【単体】

(単位：件、百万円)

	24年3月末		23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末
		23年9月末比較		
投資信託期末残高 (A)	116,436	1,631	114,804	133,877
公共債保護預り期末残高 (B)	106,590	△564	107,155	108,964
金融商品仲介期末残高 (C)	32,244	3,071	29,173	27,942
個人年金 販売件数	80,268	1,714	78,554	77,054
保険 取扱保険料 (D)	241,512	4,362	237,150	233,014
その他の生命保険 取扱保険料 (E)	53,486	13,072	40,414	25,662
預り資産残高合計 (A+B+C +D+E)	550,271	21,573	528,697	529,460
うち個人預り資産残高	531,754	21,186	510,567	510,180

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 個人年金保険の販売件数・取扱保険料は、取扱開始（平成14年10月）以降の累計であります。

4. 損益状況【単体】

当行単体の当期の損益状況は次のとおりであります。

■貸出金利息の減少を預金等利息の減少で補うも資金利益はやや減少

資金運用の要である貸出金は、前期に比べて期中平均残高は増加したものの、低金利の長期化により貸出金利回りが低下した結果、貸出金利息は前期比1,956百万円の減少となりました。また、有価証券利息配当金についても同様に426百万円の減少となりました。

一方、資金調達の要である預金等利息も同1,967百万円減少したことから、資金利益は前期比440百万円減少の55,320百万円となりました。

■役務取引等利益は微増

為替手数料や投資信託関連の手数料は減少したものの個人年金保険販売手数料等の増加が寄与し、役務取引等利益は6,194百万円と前期比40百万円の微増となりました。

■債券関係損益の減少によりその他業務利益は減益

国債等債券売却益の減少等により債券関係損益が前期比1,458百万円減少したこと等を主因に、その他業務利益は同1,890百万円の減益となりました。

以上の結果、業務粗利益は64,996百万円で前期比2,290百万円の減少となりました。

■経費は人件費を中心に減少

一方、経費は、主として人件費の減少により、前期比211百万円減少の44,017百万円となりました。

この結果、一般貸倒引当金繰入前の実質業務純益は、前期比2,078百万円減少して20,978百万円となりました。

■与信コストは大幅に減少

当期の与信コスト（一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－投資損失引当金戻入益－偶発損失引当金戻入益）は4,712百万円となり、前期比6,868百万円の大幅減少となりました。また株式関係損益も△443百万円と、株式売却損、株式等償却の減少を中心に前期比812百万円改善しました。

■経常利益・当期純利益ともに大幅増益

これらの結果、当期の経常利益は15,849百万円と前期比7,029百万円の増益、当期純利益も7,358百万円と同3,512百万円の増益となりました。

【 単 体 】

(単位：百万円)

項番		24年3月期		23年3月期
			23年3月期比較	
1	業 務 粗 利 益	64,996	△2,290	67,286
2	コア業務粗利益 (除く債券関係損益)	61,888	△831	62,720
3	資 金 利 益	55,320	△440	55,761
4	うち資金運用収益	61,191	△2,503	63,695
5	うち貸出金利息	46,040	△1,956	47,996
6	うち有価証券利息配当金	14,608	△426	15,034
7	うちコールローン利息	388	37	351
8	うち資金調達費用	5,880	△2,064	7,945
9	うち預金等利息	4,540	△1,967	6,507
10	役 務 取 引 等 利 益	6,194	40	6,153
11	そ の 他 業 務 利 益	3,481	△1,890	5,371
12	(うち債券関係損益)	3,107	△1,458	4,566
13	う ち 国 内 業 務 粗 利 益	62,736	△1,802	64,538
14	コア業務粗利益 (除く債券関係損益)	60,274	△396	60,671
15	資 金 利 益	54,557	△175	54,733
16	役 務 取 引 等 利 益	6,007	35	5,971
17	そ の 他 業 務 利 益	2,171	△1,662	3,833
18	(うち債券関係損益)	2,462	△1,405	3,867
19	経 費 (除 く 臨 時 費 用 分)	44,017	△211	44,229
20	人 件 費	23,706	△231	23,938
21	物 件 費	18,279	61	18,218
22	税 金	2,031	△41	2,073
23	実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	20,978	△2,078	23,056
24	実質コア業務純益 (除く債券関係損益)	17,870	△619	18,490
25	一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	55	△711	766
26	業 務 純 益	20,923	△1,366	22,289
27	臨 時 損 益	△5,073	8,396	△13,470
28	不 良 債 権 処 理 額	5,277	△5,536	10,814
29	貸 出 金 償 却	1,424	△769	2,194
30	個別貸倒引当金繰入額	3,852	△4,063	7,915
31	投資損失引当金繰入額	—	△641	641
32	偶発損失引当金繰入額	—	△62	62
33	償 却 債 権 取 立 益	1,328	1,328	—
34	投資損失引当金戻入益	493	493	—
35	偶発損失引当金戻入益	127	127	—
36	株 式 等 関 係 損 益	△443	812	△1,255
37	そ の 他 臨 時 損 益	△1,302	99	△1,401
38	経 常 利 益	15,849	7,029	8,819
39	特 別 損 益	△428	△378	△49
40	うち固定資産処分損益	△68	43	△112
41	固定資産処分益	119	67	51
42	固定資産処分損	188	24	163
43	うち減損損失	359	△1,024	1,383
44	うち償却債権取立益	—	△1,459	1,459
45	税 引 前 当 期 純 利 益	15,420	6,651	8,769
46	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	5,207	△565	5,773
47	法 人 税 等 調 整 額	2,854	3,704	△849
48	法 人 税 等 合 計	8,062	3,138	4,923
49	当 期 純 利 益	7,358	3,512	3,845
50	与信コスト(貸倒償却引当費用) [25+28-34-35]	4,712	△6,868	11,581

(注) ① 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

② 債券関係損益＝国債等債券売却益－同売却損＋同償還益－同償還損－同償却

5. 損益状況【連結】

当行は連結子会社が10社あり、連結決算を実施しておりますが、連結・単体の差はそれほど大きくはありません。

当期の連結経常利益は単体比2,412百万円増の18,261百万円（前期比6,418百万円増）、連結当期純利益は単体比869百万円増の8,228百万円（前期比3,551百万円増）となりました。

【連結】

(単位：百万円)

項番		24年3月期		23年3月期
			23年3月期比較	
1	連結粗利益	69,735	△2,478	72,213
2	資金利益	55,816	△588	56,404
3	役員取引等利益	8,626	92	8,534
4	その他業務利益	5,292	△1,982	7,274
5	営業経費（臨時費用処理分を除く）	45,762	△180	45,943
6	連結実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	23,972	△2,297	26,270
7	一般貸倒引当金繰入額	134	△303	437
8	連結業務純益	23,838	△1,994	25,833
9	その他経常損益（臨時損益）	△5,577	8,413	△13,990
10	不良債権処理額	5,713	△5,500	11,214
11	貸出金償却	1,470	△780	2,251
12	その他の貸倒引当金繰入額 （一般貸倒引当金繰入額を除く）	4,211	△3,997	8,208
13	その他債権売却損等	31	△722	754
14	償却債権取立益	1,328	1,328	—
15	投資損失引当金戻入益	493	493	—
16	偶発損失引当金戻入益	127	127	—
17	株式等関係損益	△457	800	△1,257
18	売却益	69	35	33
19	売却損	17	△414	431
20	償却	509	△350	859
21	その他経常損益（営業経費中臨時処理分を含む）	△1,345	161	△1,506
22	金銭の信託運用見合費用	9	△2	11
23	経常利益	18,261	6,418	11,842
24	特別損益	△177	△126	△50
25	うち減損損失	359	△1,024	1,383
26	税金等調整前当期純利益	18,084	6,292	11,792
27	法人税、住民税及び事業税	6,056	△680	6,736
28	法人税等調整額	2,888	3,704	△816
29	法人税等合計	8,944	3,024	5,920
30	少数株主損益調整前当期純利益	9,140	3,267	5,872
31	少数株主利益	911	△284	1,195
32	当期純利益	8,228	3,551	4,676

(参考)

与信コスト（7 + 10 - 15 - 16）	5,227	△6,424	11,651
-------------------------	-------	--------	--------

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結粗利益＝資金利益（資金運用収益－（資金調達費用－金銭の信託運用見合費用））＋役員取引等利益（役員取引等収益－役員取引等費用）＋その他業務利益（その他業務収益－その他業務費用）
3. 連結業務純益＝連結粗利益－営業経費（臨時費用処理分を除く）－貸倒引当金繰入額（その他経常費用）中の一般貸倒引当金繰入額

6. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	24年3月期		23年3月期
		23年3月期比較	
(1) 実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	20,978	△2,078	23,056
職員一人当たり (千円)	8,784	△680	9,465
(2) 実質コア業務純益 (一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益除く)	17,870	△619	18,490
職員一人当たり (千円)	7,483	△106	7,590
(3) 業務純益	20,923	△1,366	22,289
職員一人当たり (千円)	8,761	△388	9,150

(注) 1. 金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 職員数は、期中平均人員を使用しております。

7. 国債等債券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	24年3月期		23年3月期
		23年3月期比較	
国債等債券関係損益 (5勘定戻)	3,107	△1,458	4,566
売却益	3,969	△687	4,657
償還益	—	△4	4
売却損	651	607	43
償還損	210	210	—
償却	—	△51	51

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

8. 株式関係損益【単体】

(単位：百万円)

	24年3月期		23年3月期
		23年3月期比較	
株式関係損益 (3勘定戻)	△443	812	△1,255
売却益	70	39	31
売却損	4	△422	427
償却	509	△350	859

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

9. 有価証券・金銭の信託の評価損益

(単位：百万円)

【 単体ベース 】	24年3月末			23年3月末		
	評価損益	評価損益		評価損益	評価損益	
		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
子会社株式	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	61,683	64,688	3,004	59,786	63,853	4,067
有価証券	61,683	64,688	3,004	59,786	63,853	4,067
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	—	—	—	—	—	—
[その他有価証券評価差額金]	[43,179]			[40,658]		
合計	61,683	64,688	3,004	59,786	63,853	4,067
有価証券	61,683	64,688	3,004	59,786	63,853	4,067
株式	39,299	40,688	1,388	46,864	47,770	906
債券	23,466	23,644	177	13,693	15,589	1,895
その他	△1,082	355	1,438	△771	493	1,265
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	—	—	—	—	—	—

【 連結ベース 】	24年3月末			23年3月末		
	評価損益	評価損益		評価損益	評価損益	
		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
子会社株式	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	61,782	64,787	3,004	59,866	63,934	4,067
有価証券	61,782	64,787	3,004	59,866	63,934	4,067
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	—	—	—	—	—	—
[その他有価証券評価差額金]	[43,200]			[40,673]		
合計	61,782	64,787	3,004	59,866	63,934	4,067
有価証券	61,782	64,787	3,004	59,866	63,934	4,067
株式	39,398	40,787	1,388	46,944	47,851	906
債券	23,466	23,644	177	13,693	15,589	1,895
その他	△1,082	355	1,438	△771	493	1,265
金銭の信託 (運用目的及び満期保有目的以外)	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 「その他有価証券」並びに「金銭の信託(運用目的及び満期保有目的以外)」については期末日の時価に基づいて評価しておりますので、上記の表は貸借対照表又は連結貸借対照表計上額と取得価額との差額を記載しております。
3. 「その他有価証券」には、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

10. ROE【 単体 】

(単位：%)

	24年3月期		23年3月期 比較	23年9月期 比較	23年3月期 比較
	24年3月期	23年9月期 比較			
業務純益ベース	8.86	△1.35	△0.75	10.21	9.61
当期(中間)純利益ベース	3.11	△1.01	1.46	4.12	1.65

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

11. 自己資本比率（国際統一基準）

当行は、信用リスクの計測手法として『FIRB（基礎的内部格付手法）』を、また、オペレーショナルリスクの計測手法として『粗利益配分手法』を採用しております。

なお、当行単体の当期末の自己資本比率は13.83%で前期末（平成23年3月末）比0.96%上昇（Tier1比率は9.16%で同比0.24%低下）、連結ベースの当期末の自己資本比率は14.04%で前期末比1.03%上昇（Tier1比率は9.42%で同比0.16%低下）となりました。

【単体】

（金額単位：億円）

	24年3月末		23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末	
		23年9月末比較			23年3月末比較
(1) 自己資本比率 (%)	13.83	—	0.96	13.83	12.87
うちTier1比率 (%)	9.16	△1.16	△0.24	10.32	9.40
(2) Tier 1	1,826	△188	△148	2,015	1,975
(3) Tier 2	968	251	207	717	760
(イ) 自己資本に計上された 有価証券含み益	277	52	8	225	269
(ロ) 自己資本に計上された 土地再評価差額金	90	△0	△0	91	91
(ハ) 劣後債務残高	600	200	200	400	400
(4) 控除項目	39	7	6	31	32
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)	2,756	55	52	2,701	2,703
(6) リスク・アセット	19,924	399	△1,079	19,524	21,003

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

【連結】

（金額単位：億円）

	24年3月末		23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末	
		23年9月末比較			23年3月末比較
(1) 自己資本比率 (%)	14.04	0.04	1.03	14.00	13.01
うちTier1比率 (%)	9.42	△1.10	△0.16	10.52	9.58
(2) Tier 1	1,903	△181	△135	2,085	2,039
(3) Tier 2	972	251	207	720	764
(イ) 自己資本に計上された 有価証券含み益	278	52	8	225	269
(ロ) 自己資本に計上された 土地再評価差額金	90	△0	△0	91	91
(ハ) 劣後債務残高	600	200	200	400	400
(ニ) 一般貸倒引当金	3	0	△0	3	3
(4) 控除項目	38	5	2	33	36
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)	2,837	64	69	2,773	2,768
(6) リスク・アセット	20,204	396	△1,070	19,807	21,274

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

II 貸出金等の状況

1. 貸倒引当金とリスク管理債権の状況

当行単体のリスク管理債権の合計は761億円となり、前期末（23年3月末）比81億円の増加、総貸出金残高に占める比率は2.77%と同0.32%の上昇となりました。

なお、当行の子会社では一般事業貸出を行っていないことから、連結ベースでのリスク管理債権残高は単体比195百万円の増加にとどまっております。

【単体】

(単位：百万円)

	24年3月末			23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末
		23年9月末比較	23年3月末比較		
貸倒引当金	34,337	△1,739	121	36,076	34,215
一般貸倒引当金	15,562	1,312	55	14,250	15,507
個別貸倒引当金	18,774	△3,051	66	21,826	18,707
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

リスク管理債権	破綻先債権額	1,310	△965	△788	2,275	2,098
	延滞債権額	61,076	3,387	8,626	57,688	52,449
	3カ月以上延滞債権額	537	△280	△1,073	818	1,611
	貸出条件緩和債権額	13,264	1,038	1,398	12,226	11,866
	合計	76,189	3,180	8,163	73,008	68,026
(部分直接償却額)		(28,325)	(1,456)	(△1,028)	(26,869)	(29,354)
貸出金残高(末残)		2,750,010	33,526	△24,824	2,716,484	2,774,834

(単位：%)

対総貸出金残高比率	破綻先債権額	0.04	△0.04	△0.03	0.08	0.07
	延滞債権額	2.22	0.10	0.33	2.12	1.89
	3カ月以上延滞債権額	0.01	△0.02	△0.04	0.03	0.05
	貸出条件緩和債権額	0.48	0.03	0.06	0.45	0.42
	合計	2.77	0.09	0.32	2.68	2.45

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

【連結】

(単位：百万円)

	24年3月末		23年9月末 (第2四半期末)		23年3月末
		23年9月末比較	23年3月末比較		
貸倒引当金	36,491	△1,735	398	38,226	36,092
一般貸倒引当金	16,361	1,389	134	14,971	16,226
個別貸倒引当金	20,130	△3,125	264	23,255	19,865
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

リスク管理債権	破綻先債権額	1,320	△974	△799	2,295	2,119
	延滞債権額	61,152	3,383	8,625	57,769	52,526
	3カ月以上延滞債権額	539	△284	△1,075	824	1,615
	貸出条件緩和債権額	13,372	1,031	1,383	12,340	11,988
	合計	76,384	3,155	8,133	73,229	68,251

(部分直接償却額) (28,325) (1,456) (△1,028) (26,869) (29,354)

貸出金残高(末残)	2,743,438	33,836	△24,668	2,709,601	2,768,107
-----------	-----------	--------	---------	-----------	-----------

(単位：%)

対総貸出金残高比率	破綻先債権額	0.04	△0.04	△0.03	0.08	0.07
	延滞債権額	2.22	0.09	0.33	2.13	1.89
	3カ月以上延滞債権額	0.01	△0.02	△0.04	0.03	0.05
	貸出条件緩和債権額	0.48	0.03	0.05	0.45	0.43
	合計	2.78	0.08	0.32	2.70	2.46

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. 金融再生法開示債権の状況【単体】

当行単体の金融再生法に基づく開示債権の合計は764億円で前期末(23年3月末)比79億円の増加、総与信に占める比率は2.74%で同0.31%の上昇、貸倒引当金や担保等による保全率は78.44%で同0.29%の低下となりました。

【単体】

(金額単位：百万円)

	24年3月末		23年9月末 (第2四半期末)		23年3月末
		23年9月末比較	23年3月末比較		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,793	△1,035	△485	6,829	6,279
危険債権	56,841	3,490	8,158	53,350	48,683
要管理債権	13,802	757	324	13,045	13,477
小計(A)	76,437	3,213	7,997	73,224	68,440
対総与信残高比率(A)÷(B)(%)	2.74	0.09	0.31	2.65	2.43
正常債権	2,709,070	29,394	△34,616	2,679,676	2,743,687
合計(B)	2,785,508	32,607	△26,618	2,752,901	2,812,127

保全額(C)	59,958	236	6,074	59,721	53,883
貸倒引当金	21,169	△2,301	1,036	23,470	20,132
担保保証等	38,788	2,537	5,037	36,251	33,751

保全率(C)÷(A)(%)	78.44	△3.11	△0.29	81.55	78.73
---------------	-------	-------	-------	-------	-------

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

3. 業種別貸出状況等

(1) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	24年3月末		23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末	
		23年9月末比較			23年3月末比較
消費者ローン	785,358	2,125	1,807	783,232	783,550
住宅ローン	757,760	1,381	761	756,378	756,998
その他ローン	27,597	744	1,045	26,853	26,551

(注) 1. 百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 住宅ローンには、地方公共団体制度融資(住宅資金)・協定住宅融資等の住宅関連融資を含めて記載しております。

(2) 中小企業等貸出比率【単体】

(単位：%)

	24年3月末		23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末	
		23年9月末比較			23年3月末比較
中小企業等貸出比率	71.02	△0.17	0.57	71.19	70.45

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(3) 業種別貸出金残高【単体】

(単位：百万円)

	24年3月末		23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末	
		23年9月末比較			23年3月末比較
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	2,744,319	32,671	△24,609	2,711,647	2,768,928
製造業	497,088	15,967	17,994	481,121	479,094
農業・林業	3,058	169	481	2,889	2,577
漁業	547	41	△35	505	582
鉱業・採石業・砂利採取業	7,301	△1,180	90	8,482	7,211
建設業	101,631	△3,154	△7,524	104,786	109,155
電気・ガス・熱供給・水道業	26,544	4,332	5,388	22,211	21,156
情報通信業	36,979	3,538	2,374	33,440	34,604
運輸業・郵便業	102,905	6,297	5,672	96,608	97,233
卸売・小売業	360,016	△3,386	△9,589	363,402	369,605
金融・保険業	69,913	△13,463	△9,530	83,376	79,443
不動産業・物品賃貸業	400,101	12,451	3,428	387,649	396,672
その他サービス業	248,073	8,228	△27,943	239,845	276,017
地方公共団体	147,494	△1,029	△11,067	148,523	158,562
その他	742,664	3,859	5,653	738,804	737,010

(注) 百万円未満を切り捨てて表示しております。

(4) 業種別リスク管理債権残高【単体】

(単位：百万円)

	24年3月末		23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末	
		23年9月末比較			23年3月末比較
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	76,175	3,185	8,177	72,989	67,998
製造業	21,843	4,375	6,202	17,467	15,640
農業・林業	145	3	6	142	139
漁業	—	—	—	—	—
鉱業・採石業・砂利採取業	—	—	—	—	—
建設業	7,360	△2,028	△1,515	9,389	8,875
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	282	△3	△125	285	408
運輸業・郵便業	2,228	1,040	1,474	1,188	754
卸売・小売業	19,909	1,572	3,470	18,336	16,438
金融・保険業	47	△0	△1	47	48
不動産業・物品賃貸業	14,535	△1,455	△531	15,991	15,066
その他サービス業	4,707	△214	△89	4,922	4,797
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	5,114	△104	△715	5,218	5,829

(注) 百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 国別貸出状況等

(1) 特定海外債権残高【単体】

(金額単位：百万円)

	24年3月末		23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末
		23年9月末比較		
債権額	—	—	—	—
対象国数(カ国)	—	—	—	—

(2) アジア向け貸出金【単体】

(単位：百万円)

	24年3月末		23年9月末 (第2四半期末)	23年3月末	
		23年9月末比較			23年3月末比較
インドネシア	342	38	3	304	338
(うちリスク管理債権)	13	△5	△14	19	27
タイ	591	202	199	388	391
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
中国	1,217	138	158	1,078	1,058
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
香港	2,210	△354	△326	2,565	2,536
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
マレーシア	8	8	8	—	—
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
合計	4,369	32	43	4,336	4,325
(うちリスク管理債権)	13	△5	△14	19	27

(3) 中南米主要諸国向け貸出金【単体】

該当ありません。

(4) ロシア向け貸出金【単体】

該当ありません。

Ⅲ 自己査定結果と開示基準別の分類・保全状況【単体】

〔平成24年3月末現在〕

(金額単位：億円)

自己査定結果（債務者区分別） 対象：貸出金等与信関連債権					金融再生法の開示基準 対象：要管理債権は貸出金のみ その他は貸出金等与信関連債権				リスク管理債権 対象：貸出金	
区分 与信残高	分類				区分 与信残高	担保証 による 保全額	引当 額	保全率	区分	貸出金 残高
	非 分類	Ⅱ 分類	Ⅲ 分類	Ⅳ 分類						
破綻先 13	6	6	— (3)	— (0)	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 57	48	9	100.00%	破綻先債権	13
実質破綻先 44	12	32	— (6)	— (0)					危険債権 568	314
破綻懸念先 568	382	111	74 (177)		要管理債権 (貸出金のみ) 138	24	24	35.55%		
要 注 意 先	要管理先 201	25	176						小計 764	387
	その他の 要注意先 3,178	816	2,361		正常債権 27,090	総与信に占める 金融再生法開示基準 による不良債権(小計) の割合 2.74%	総貸出金に占める リスク管理債権の 割合 2.77%	合 計		
正 常 先 23,848	23,848							合 計 27,855		
合 計 27,855	25,091	2,688	74 (187)	— (0)						

(注) 1. 金額は単位未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. 貸出金等与信関連債権：貸出金・支払承諾・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・未収利息

3. 自己査定結果におけるⅢ分類の()内は分類額に対する引当額であります。

IV 平成25年3月期(通期)の業績予想

〔主要勘定(通期の期中平均残高)〕

(単位：億円、%)

	単 体		連 結	
	予想平均残高	前期比較	予想平均残高	前期比較
預金等(譲渡性預金含む)	41,403	(2.21%) 897	41,319	(2.21%) 897
貸 出 金	27,018	(△0.54%) △146	26,952	(△0.54%) △146
有 価 証 券	14,417	(4.78%) 659	14,418	(4.78%) 659

(注) 前期比較欄の上段の()内は、前期比増減率(単位：%)であります。

〔損益〕

【単体】

(単位：百万円)

	中間期(平成24年9月期)			通期(平成25年3月期)		
	24年9月期 予 想	23年9月期 実 績	23年9月期 比 較	25年3月期 予 想	24年3月期 実 績	24年3月期 比 較
経 常 利 益	3,500	7,505	△4,005	8,000	15,849	△7,849
当期(中間)純利益	2,000	4,736	△2,736	5,000	7,358	△2,358
業 務 純 益	8,000	11,723	△3,723	16,500	20,923	△4,423

【連結】

(単位：百万円)

	中間期(平成24年9月期)			通期(平成25年3月期)		
	24年9月期 予 想	23年9月期 実 績	23年9月期 比 較	25年3月期 予 想	24年3月期 実 績	24年3月期 比 較
経 常 利 益	4,000	8,640	△4,640	9,500	18,261	△8,761
当期(中間)純利益	2,200	5,276	△3,076	5,500	8,228	△2,728